

FOMA ユビキタスモジュール[®]
(FOMA[®] UM02-F)
及び
専用アダプタセット用
「モデムセットアップ情報ファイル」
(UM02-F.INF)

設定手順書

富士通株式会社

著作権・免責事項について

● 著作権について

本書およびモデムセットアップ情報ファイル(UM02-F.INF)の著作権は富士通株式会社に帰属します。富士通株式会社の許可なく、本書の内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。お客様は、モデムセットアップ情報ファイル(UM02-F.INF)のご使用のために、ダウンロードした設定手順書を1部のみプリントアウトすることができます。

● 免責事項について

本書およびモデムセットアップ情報ファイル(UM02-F.INF)は、お客様の責任においてご使用ください。本書およびモデムセットアップ情報ファイル(UM02-F.INF)の使用によって生じた損害などについて、富士通株式会社は一切その責任を負わないこととします。

登録商標・商標について

本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」、「mopera U」、「FOMA ユビキタスマジュール」および「FOMA」ロゴは NTT ドコモの商標または登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です (Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です)。
- Hayes は Hayes Microcomputer Products (米国) の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows の表記について

- Windows XP は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system の略です。
- Windows 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

ダイヤルアップ接続完了までの流れ

FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)を使用してパソコンからダイヤルアップ接続を行うには、以下の作業が必要です。

本書では 6 から 8 の手順について説明しています。

1. FOMA UM02-F と FOMA UM01-KO 接続用治具を接続する
2. パソコンに高速シリアルカード(アダプタ)を導入して利用可能にする
3. FOMA UM01-KO 接続用治具とパソコンを接続する
4. パソコンと FOMA UM02-F の DTE 速度を設定する
5. AT コマンドが使用できることを確認し、FOMA UM02-F に APN の登録を行う
6. パソコンに FOMA UM02-F をモデムとしてインストールする
7. パソコンにダイヤルアップ接続プロファイルを作成する
8. モデム設定・接続プロファイルの設定および確認を行う

1 から 5 までの作業については、「FOMA ユビキタスモジュール FOMA UM02-F 取扱説明書」、「FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM01-KO)接続用治具取扱説明書」、および高速シリアルカード(アダプタ)の取扱説明書(カード付属)を確認してください。

なお、この後の記述では「FOMA ユビキタスモジュール FOMA UM02-F 取扱説明書」を「FOMA UM02-F 取扱説明書」、「FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM01-KO)接続用治具取扱説明書」を「FOMA UM01-KO 接続用治具取扱説明書」と表記します。あらかじめご了承ください。

対応する OS について

FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)をパソコンで使用するためには、パソコンに次のいずれかの日本語版 OS がインストールされている必要があります。

Windows XP/Windows 2000

本書では、Windows XP で使用する場合を例に、設定方法を説明します。

また、インストール・設定は、「コンピュータの管理者」(Administrator グループ)のアカウントで行ってください。

パソコン上でのデバイス表示について

インストール後、FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)は「FOMA UM01-KO 接続用治具」もしくは「FOMA UM02-F 専用アダプタセット」どちらを使用した場合でも、デバイス上同一のモデムとして認識されます。

本書では、これらを合わせて「モデム(FOMA UM02-F)」と表記します。

高速シリアルカード(アダプタ)について

モデム(FOMA UM02-F)を利用して230.4kbpsもしくは460.8kbpsの高速通信を行う場合、パソコンに高速シリアルカード(アダプタ)を導入しておく必要があります。導入方法については、高速シリアルカード(アダプタ)の取扱説明書(カード付属)を確認してください。

※: パソコン標準のシリアルインタフェースでは、通信速度は115.2kbps までになります。

- 高速シリアルカード(アダプタ)のパソコンへの接続先(USB の場合は挿入するUSB ポートの位置、PCMCIA の場合は挿入するスロットの位置)を変更すると、ドライバが再インストールされ、COM ポートが変更になる場合があります。一度インストールしたら、同じ接続先(USB コネクタ・スロット位置)で利用することをお奨めします。

確認事項

- ☐ 接続用治具－モジュール間のフレキケーブルは確実に接続しましたか？

→ コネクタのロックを行った際に、フレキケーブルの白いラインが隠れるまで挿入する必要があります。
挿入方法は、「FOMA UM01-KO 接続用治具取扱説明書」を確認してください。

- ☐ 高速シリアルカード(アダプタ)の導入は終わっていますか？

→ 使用する高速シリアルカード(アダプタ)がパソコンでCOM ポートとして認識されている必要があります。
詳しくは、使用する高速シリアルカード(アダプタ)の取扱説明書(カード付属)を確認してください。

- ☐ 接続用治具－パソコン間の接続は正しく行えていますか？

→ パソコンからAT コマンドを入力できる状態にある必要があります。詳しくは、「FOMA UM02-F 取扱説明書」および、「FOMA UM01-KO 接続用治具取扱説明書」を確認してください。

- ☐ APN は登録されていますか？

→ 出荷状態のモデム(FOMA UM02-F)には、APN は登録されていません。確認および登録については、「FOMA UM02-F 取扱説明書」を確認してください。

以上の点を確認した後、モデム(FOMA UM02-F)のインストールおよび、ダイヤルアップ接続プロファイルの作成に進んでください。

1. モデム(FOMA UM02-F)のインストール方法

※: あらかじめ「モデムセットアップ情報ファイル(UM02-F.INF)」を用意してください。

※: 230.4kbps もしくは 460.8kbps の高速通信を使用する場合は、インストールするパソコンにおいて、高速シリアルインタフェースが使用可能な状態にしておいてください。

(パソコン標準のシリアルインタフェースでは、通信速度は 115.2kbps までになります。)

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。

「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします(図 1.1)。

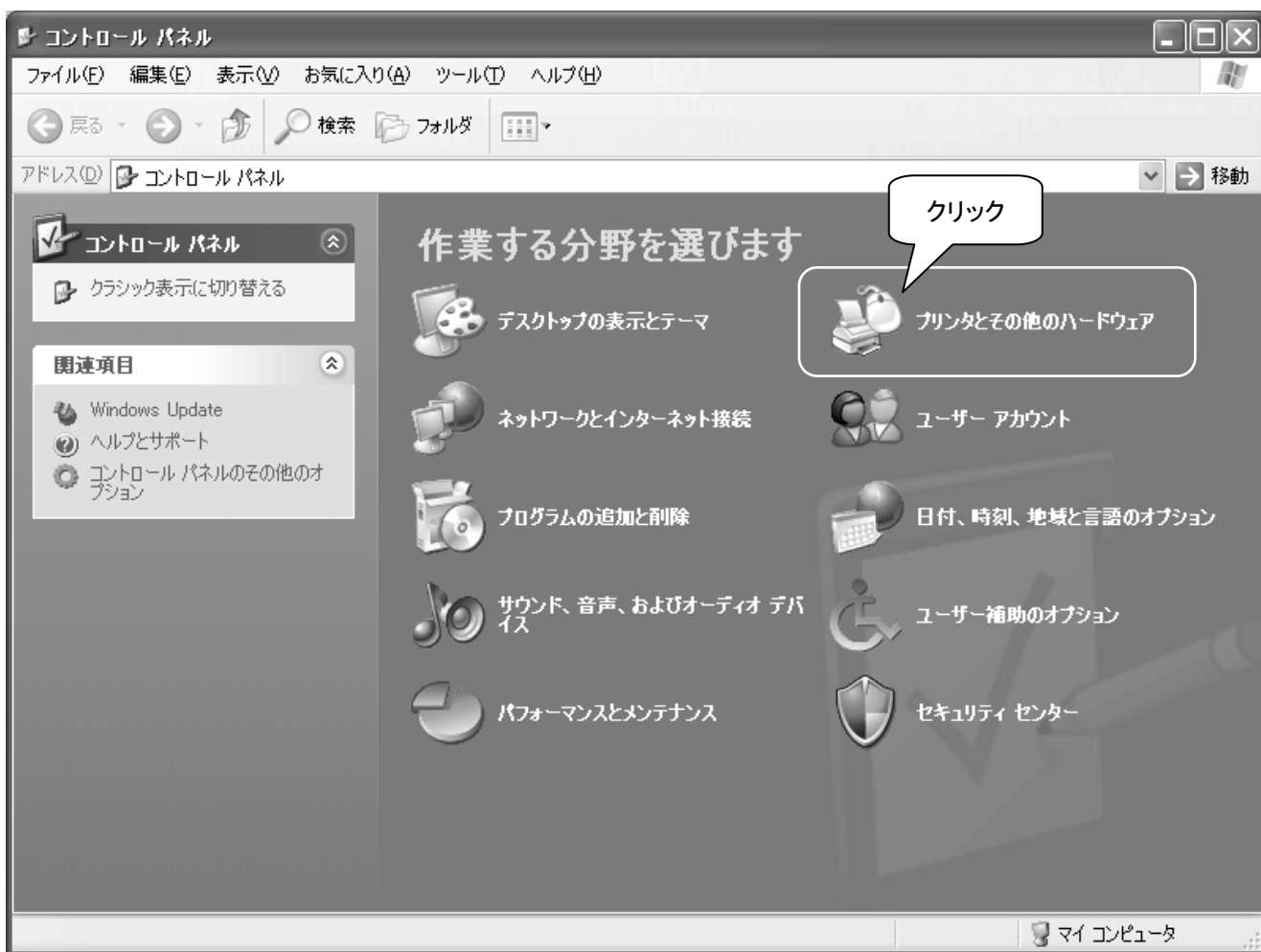


図 1.1

「プリンタとその他のハードウェア」が表示されるので、「電話とモデムのオプション」をクリックします(図 1.2)。

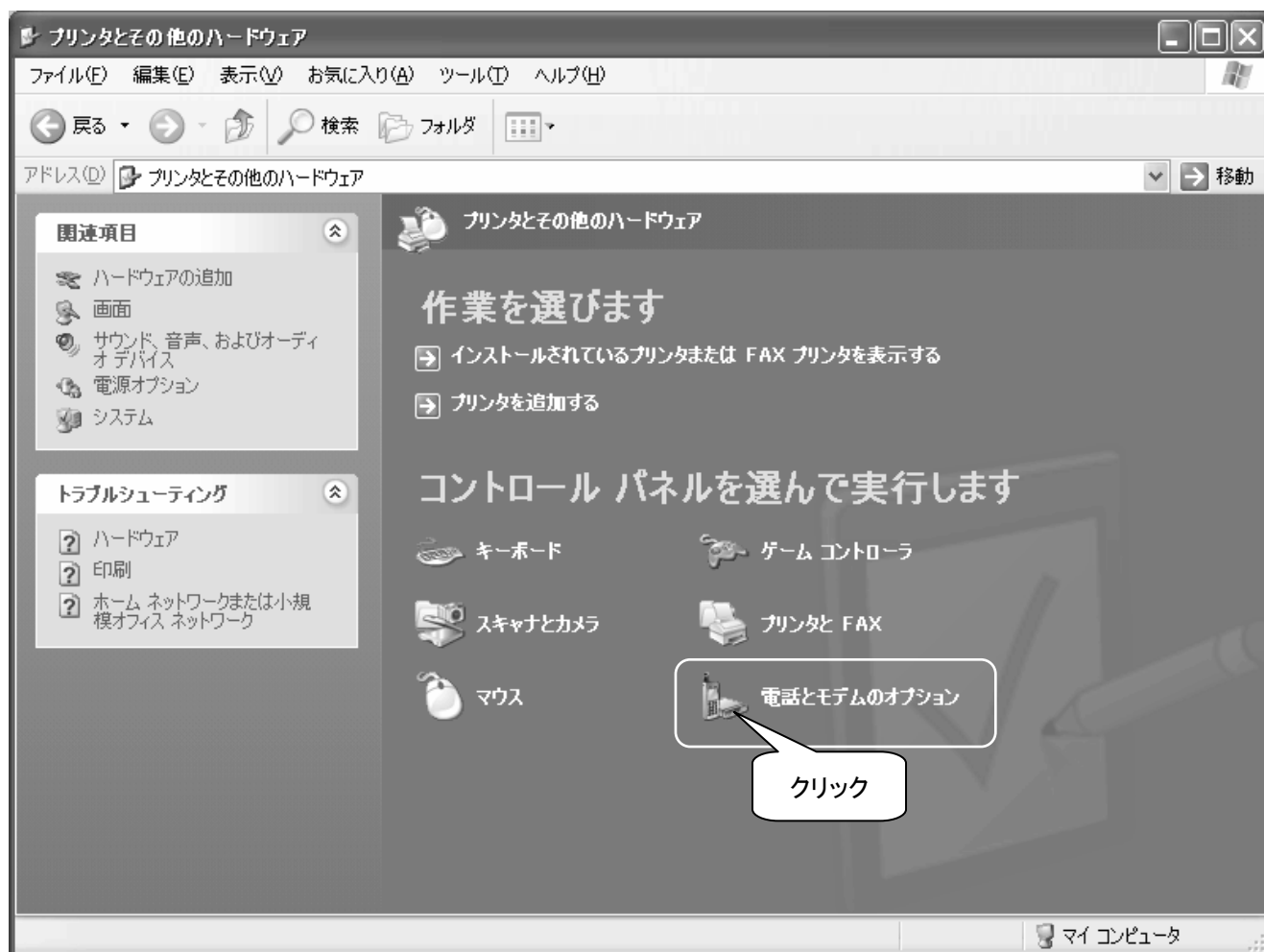


図 1.2

「電話とモデムのオプション」が表示されるので、「モデム」タブをクリックし「追加」ボタンをクリックします(図 1.3)。



図 1.3

「ハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックします(図 1.4)。



図 1.4

「ディスク使用」ボタンをクリックします(図 1.5)。

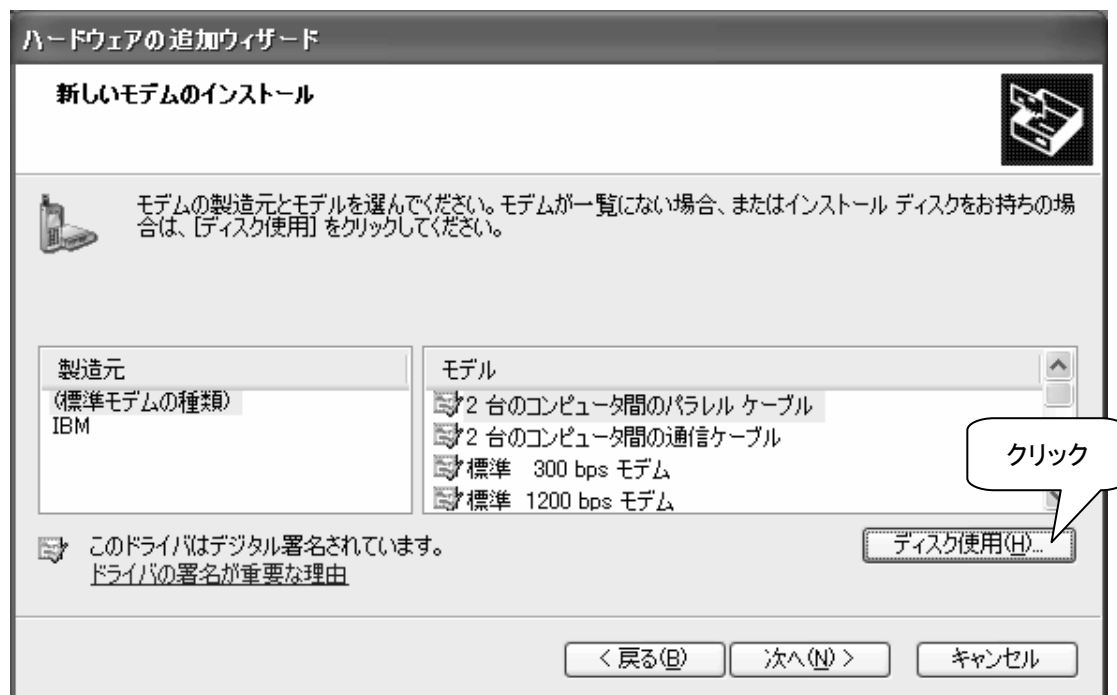


図 1.5

ファイルのコピー元を指定するウィンドウが表示されるので、「モデムセットアップ情報ファイル」を保存した場所を指定します(図 1.6)。

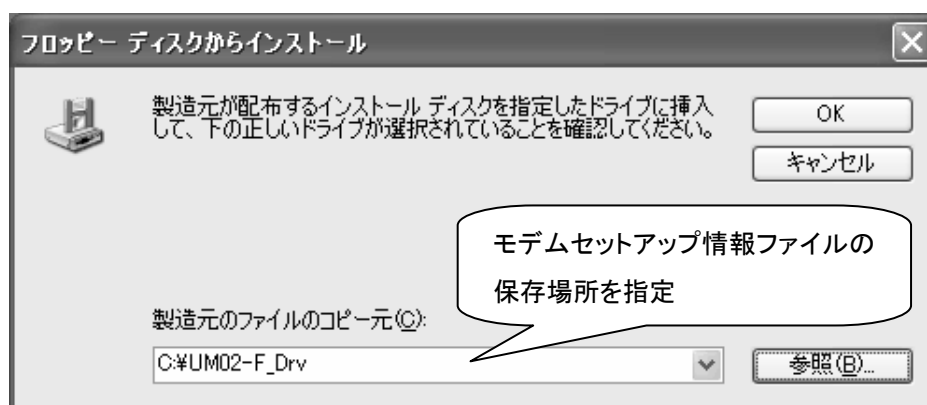


図 1.6

ここでは、「モデムセットアップ情報ファイル(UM02-F.INF)」を以下のディレクトリに保存しているものとして説明します。

C:\¥UM02-F_Drv

コピー元の場所を指定したら、「OK」ボタンをクリックします。

モデムのモデル名が表示されます。表示されたモデル名「FOMA UM02-F」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします（図 1.7）。

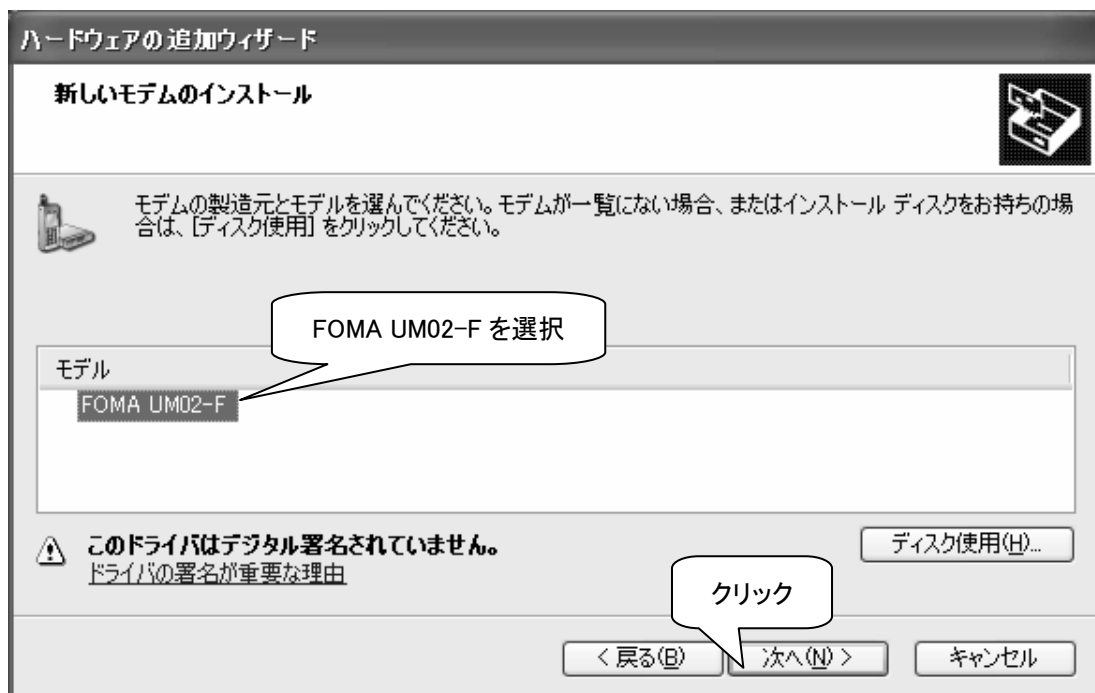


図 1.7

次にモデム（FOMA UM02-F）をインストールするポートを選択します。高速シリアルカード（アダプタ）を使用する場合は、インストールした高速シリアルカード（アダプタ）のポートを選択します。

（図 1.8 では COM2 を選択していますが、パソコンのポート割り当て状況によって異なります。）

使用するポートを選択後、「次へ」ボタンをクリックします（図 1.8）。



図 1.8

「次へ」ボタンをクリック後、モデムのインストールが開始されます。

モデムのインストール中に、Windows XP では図 1.9 のような警告画面が表示されます。

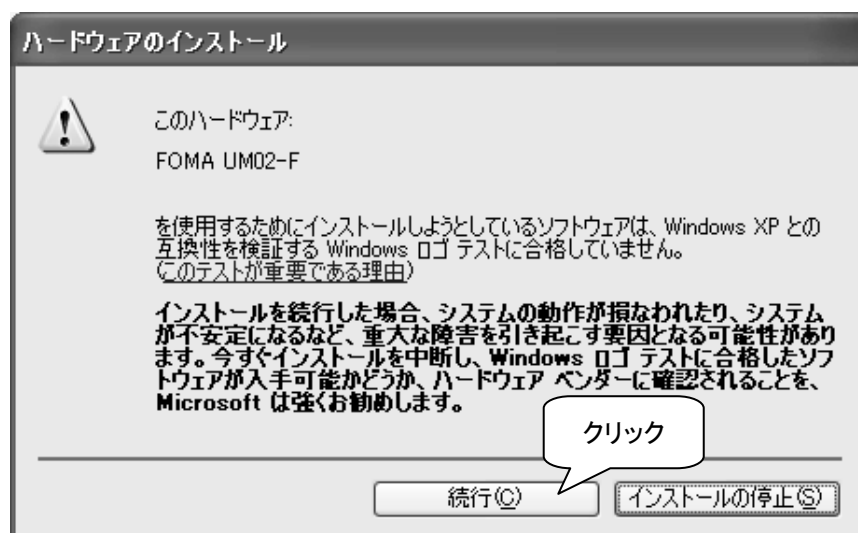


図 1.9

また、Windows 2000 では図 1.10 のような警告画面が表示されます。

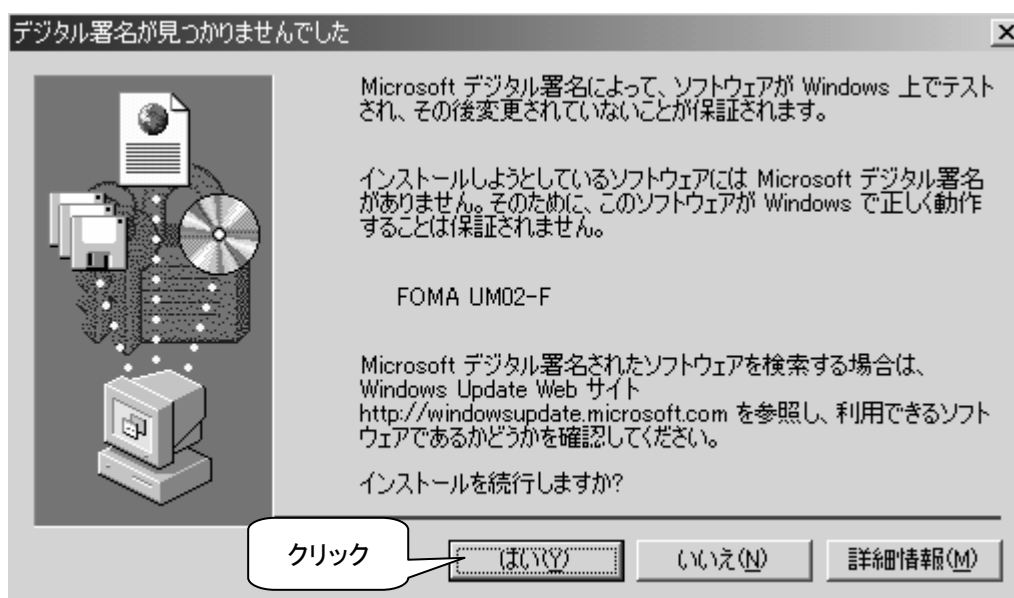


図 1.10

これは対象となるドライバが「Windows ロゴテスト」に対応していない場合に表示される警告画面ですが、本インストールにおいては、動作上の問題はありません。

ここでは「続行」ボタン(図 1.9)、もしくは「はい」ボタン(図 1.10)をクリックします。

モデムのインストールが完了すると、図 1.11 の画面が表示されます。

以上でモデム (FOMA UM02-F) のインストールは完了です。「完了」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます (図 1.11)。



図 1.11

「電話とモデムのオプション」に、追加したモデム(FOMA UM02-F)が表示されていれば、モデムは正しくインストールされています。

「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます(図 1.12)。



図 1.12

2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成

ここでは、モデム (FOMA UM02-F) を使ったダイアルアップ接続のプロファイルを作成します。

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。

「ネットワークとインターネット接続」をクリックします (図 2.1)。

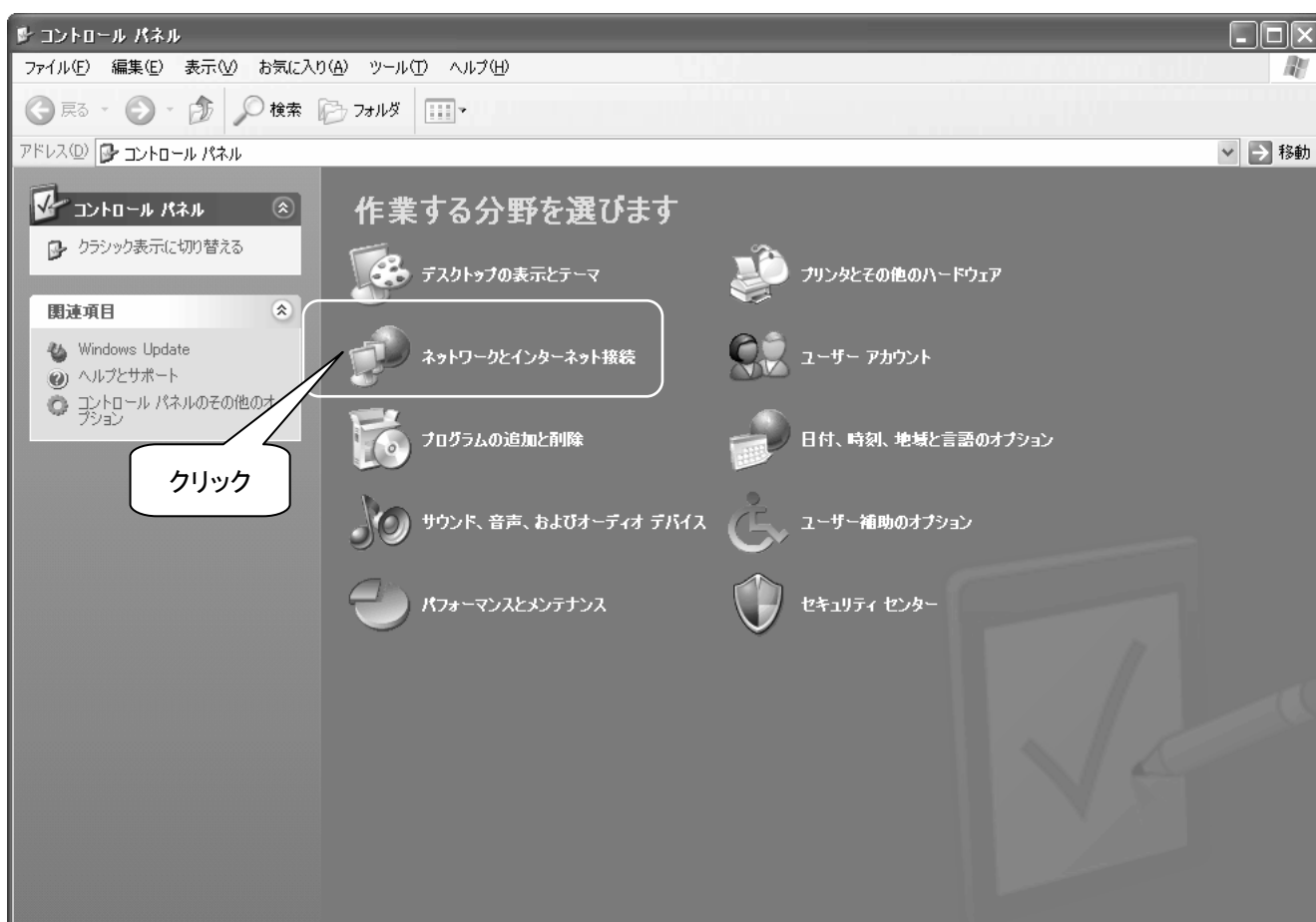


図 2.1

「ネットワークとインターネット接続」が表示されるので、「ネットワーク接続」をクリックします(図 2.2)。

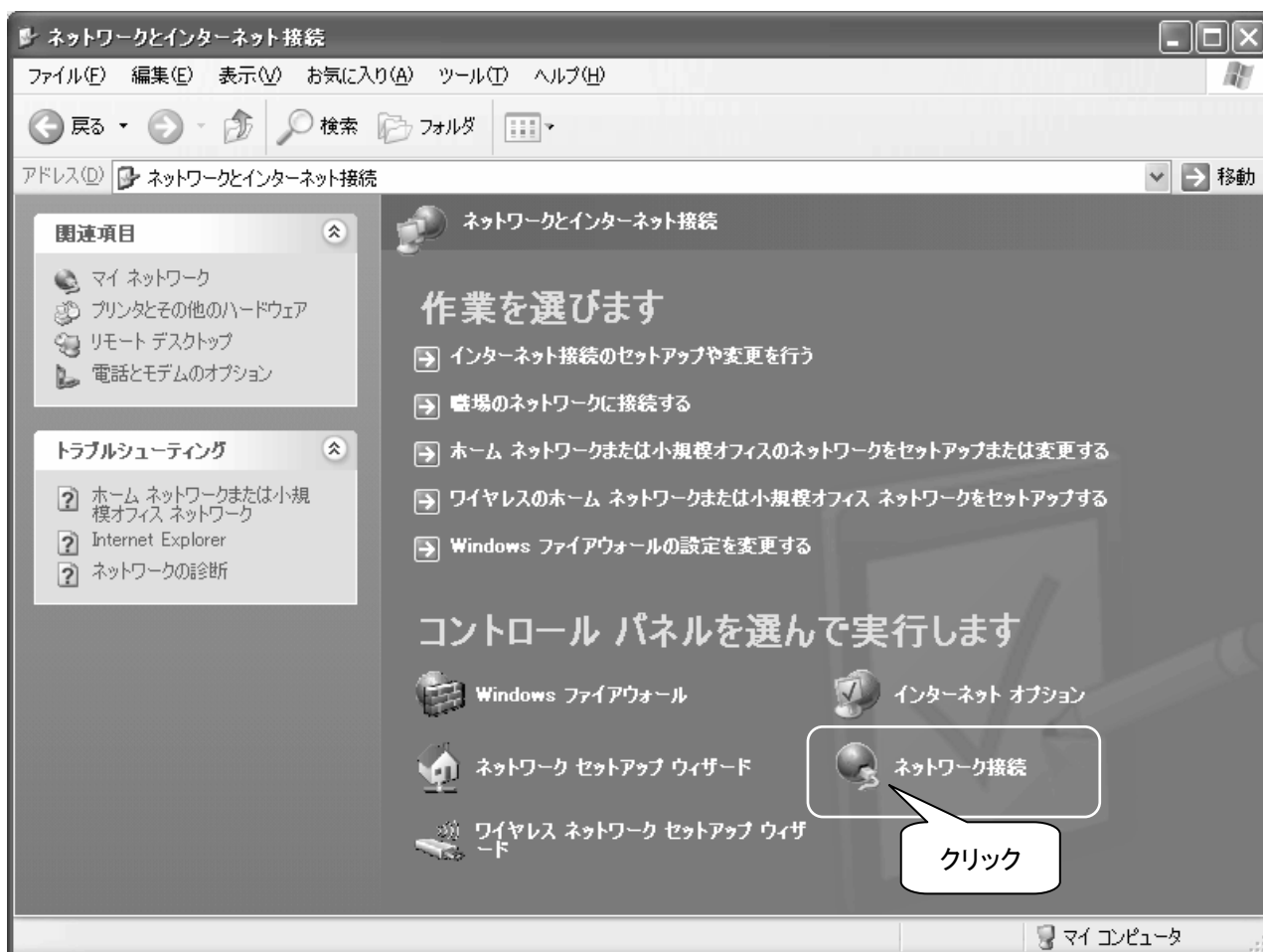


図 2.2

「ネットワーク接続」が表示されるので、左上にある「ネットワークタスク」内の「新しい接続を作成する」をクリックします(図 2.3)。

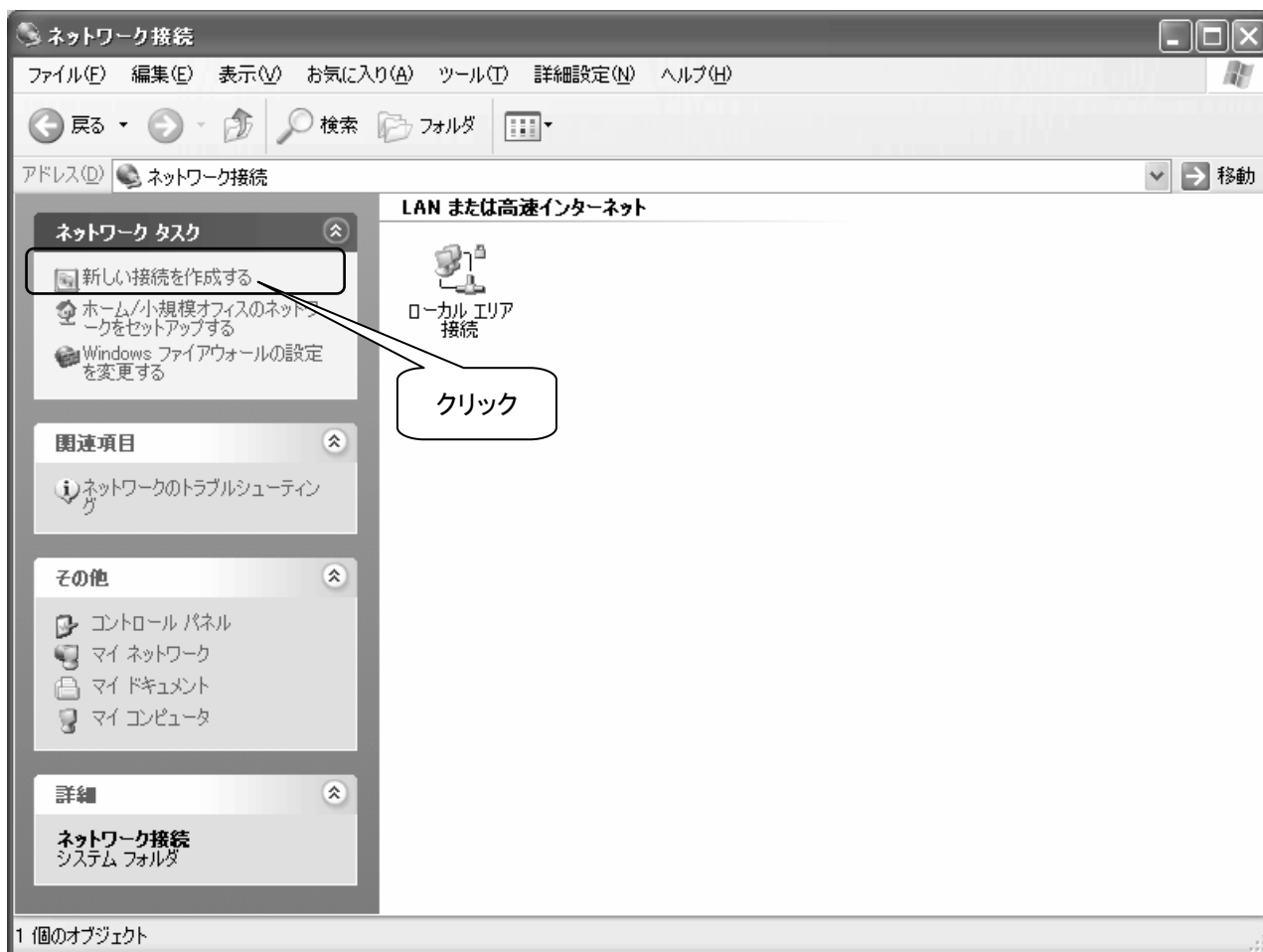


図 2.3

「新しい接続ウィザード」が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします(図 2.4)。

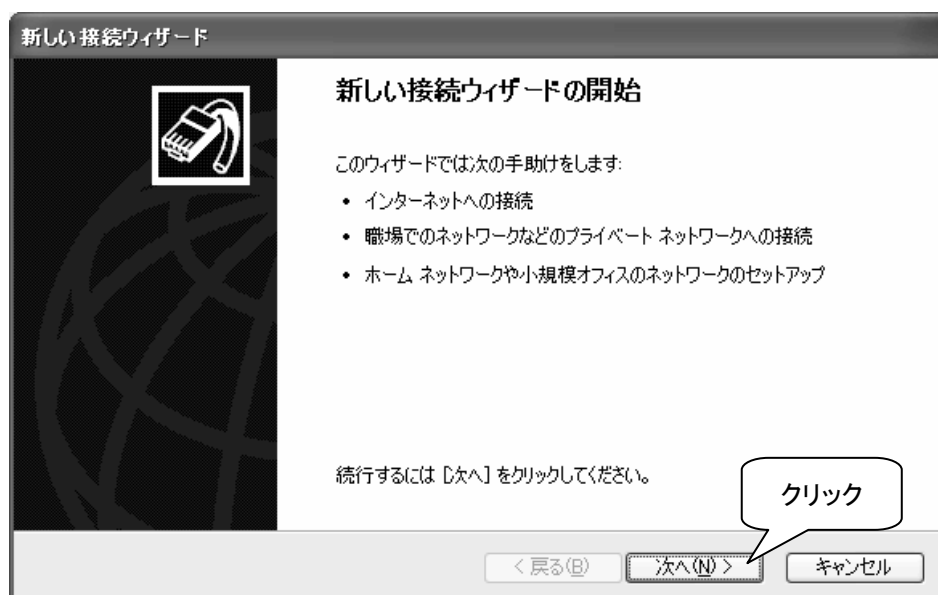


図 2.4

「ネットワーク接続の種類」を選択する画面が表示されます。

「インターネットに接続する」のラジオボタンにチェックをし、「次へ」ボタンをクリックします(図 2.5)。

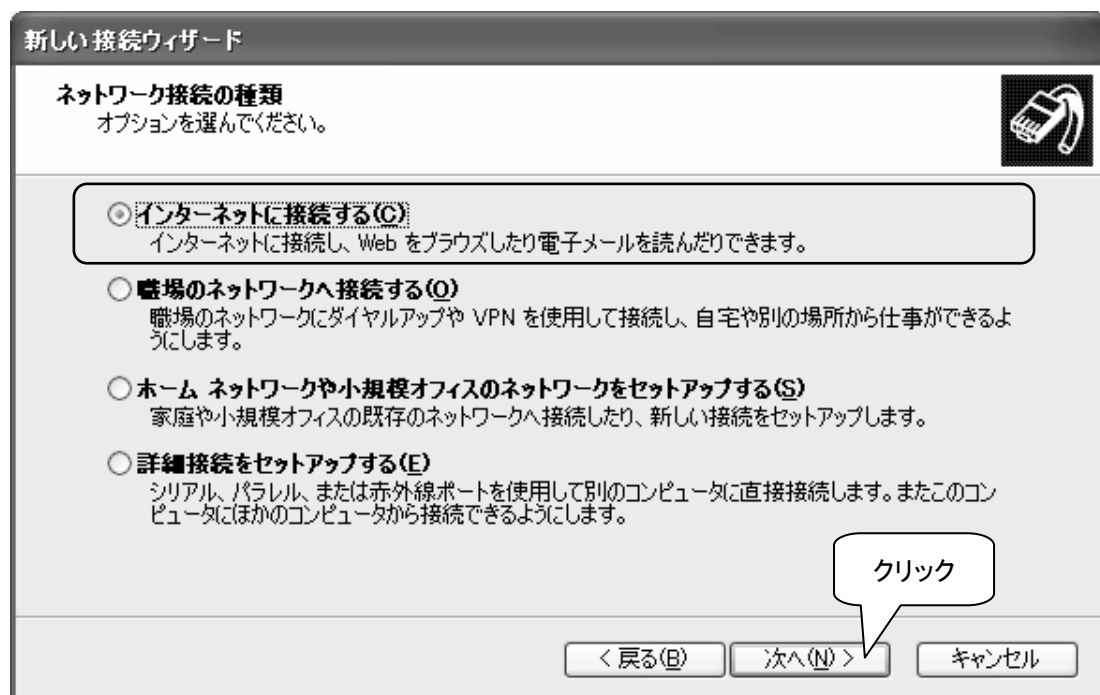


図 2.5

インターネット接続のセットアップは手動で行います。「接続を手動でセットアップする」のラジオボタンにチェックをし、「次へ」ボタンをクリックします(図 2.6)。

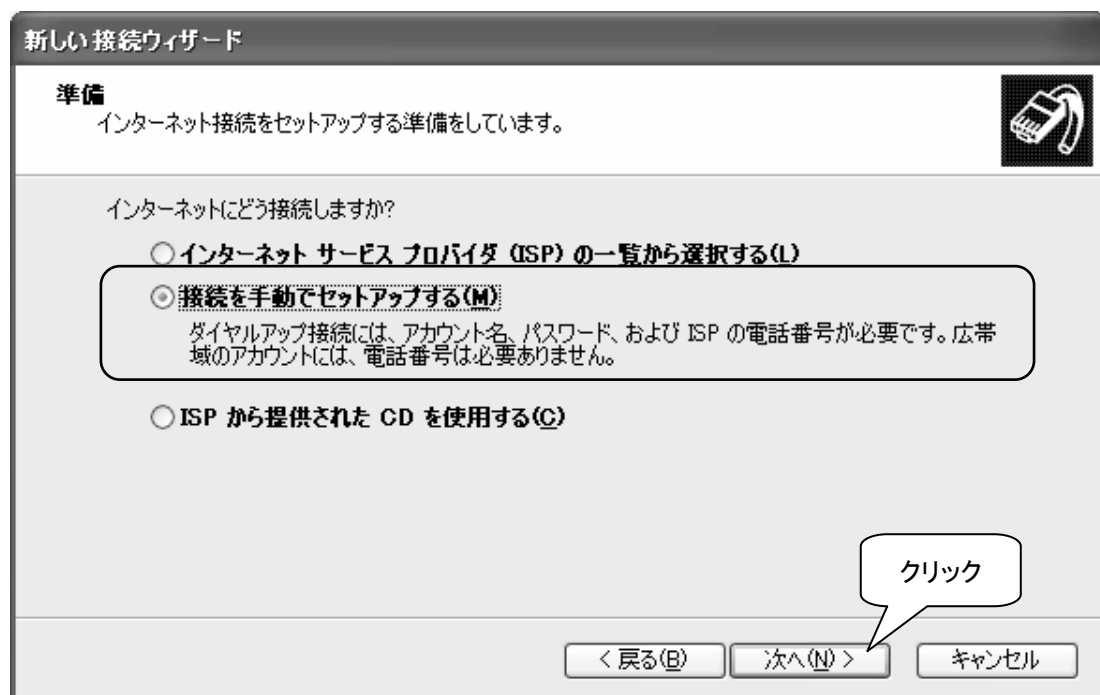


図 2.6

モデム(FOMA UM02-F)を使用してダイヤルアップを行うので「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」のラジオボタンにチェックをし、「次へ」ボタンをクリックします(図 2.7)。

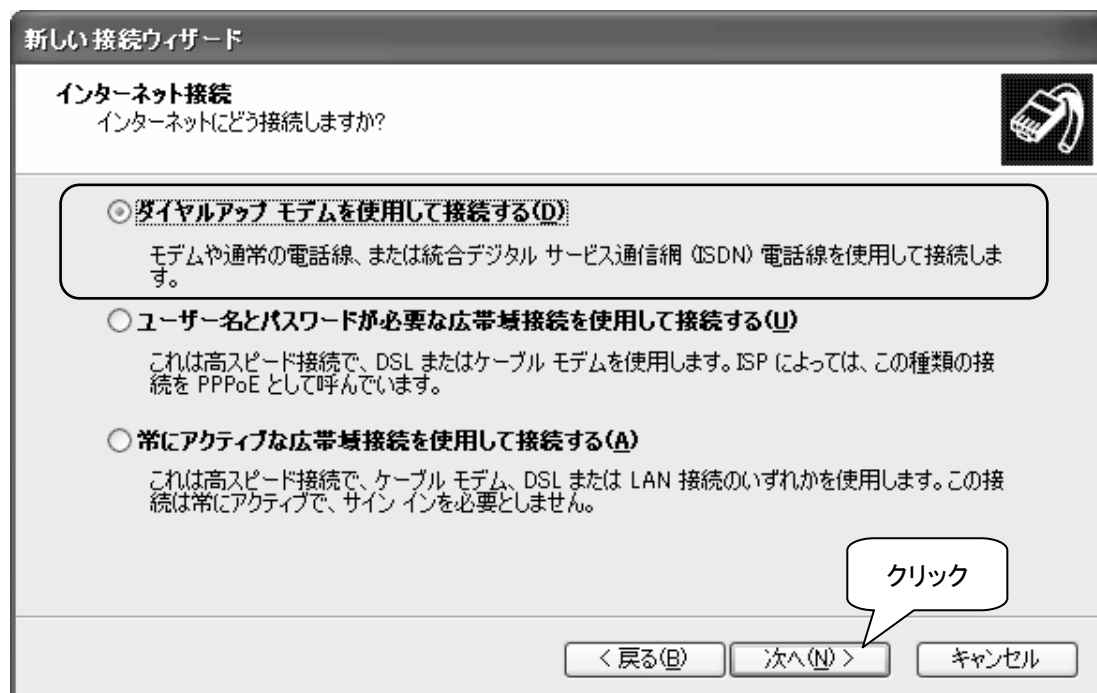


図 2.7

「モデム-FOMA UM02-F (COM2)」にチェックをし、「次へ」ボタンをクリックします(図 2.8)。
(ただし、図 2.8 の画面はパソコンに複数のモデムがセットアップされている場合にのみ表示されます。)



図 2.8

ダイヤルアップ接続を行う ISP (インターネットサービスプロバイダ) を設定します。

ここでは、ドコモの「mopera U」を利用してダイヤルアップ接続を行うものとして説明します。

※: その他の ISP にダイヤルアップ接続を行う場合、その ISP が定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。なお、利用するプロバイダは高速パケット通信に対応している必要があります。

※: 装置ネットワークなどの限定されたネットワークに接続する場合は、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続を設定してください。

接続名として ISP 名に「mopera U」と入力します。

(補足: ISP 名は接続動作には関係ないので、任意の名前を入力できます)

ISP 名を入力した後、「次へ」ボタンをクリックします (図 2.9)。

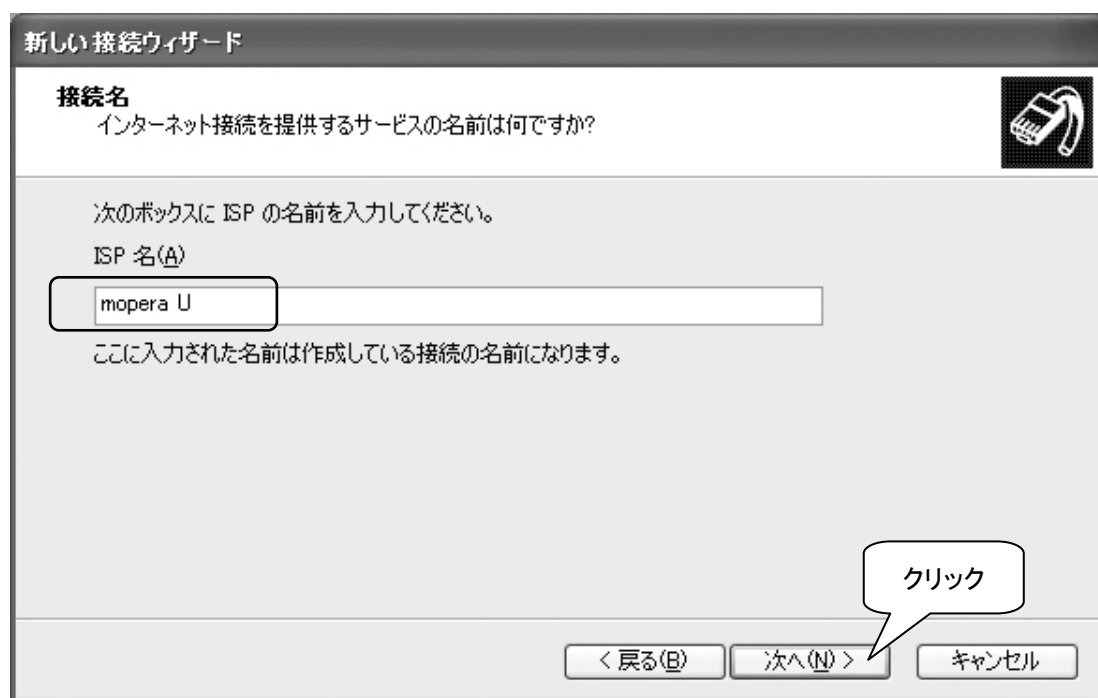


図 2.9

次に、ダイヤルアップ接続先の電話番号を設定します。

ここでは引き続き、「mopera U」を利用する場合の電話番号を例に説明します。

※： あらかじめ、モデム(FOMA UM02-F)に「mopera U」への接続設定(APN 設定)を行っておく必要があります。
(出荷状態のモデム(FOMA UM02-F)には、APN の設定は行われておりません。)

「FOMA UM02-F 取扱説明書」を参考にして、お客様で APN の設定を行っておいてください。

ダイヤルする電話番号として、「電話番号」に「*99***1#」と半角文字で入力してください。電話番号を入力した後、「次へ」ボタンをクリックします(図 2.10)。

※： 上記の電話番号「*99***1#」は、モデム(FOMA UM02-F)に「mopera U」への接続設定を cid1 に登録した場合の番号です。

他の cid に登録した場合は、「電話番号」に「*99***△#」(△には APN 設定時に登録した cid 番号(1～10)を入力)を入力してください。

詳しくは、「FOMA UM02-F 取扱説明書」を参照してください。



図 2.10

【参考】

- ・ APN の登録は AT コマンド操作で行います。
- ・ 詳しくは「FOMA UM02-F 取扱説明書」に記述されている、AT コマンド「AT+CGDCONT」の使用方法を参照してください。

- ※: その他の ISP にダイヤルアップ接続を行う場合、高速パケット通信対応のアクセスポイントを設定してください。
設定の際は、その ISP が定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。
また、利用する ISP への接続設定 (APN 設定) をモデム (FOMA UM02-F) に行っておく必要があります。
「FOMA UM02-F 取扱説明書」を参考にして、お客様で APN の設定を行っておいてください。
- ※: 装置ネットワークなどの限定されたネットワークに接続する場合は、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続を設定してください。
また、利用するネットワークへの接続設定 (APN 設定) をモデム (FOMA UM02-F) に行っておく必要があります。
「FOMA UM02-F 取扱説明書」を参考にして、お客様で APN の設定を行っておいてください。

「接続の利用範囲」の設定画面が表示されます。

「すべてのユーザー」のラジオボタンがチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、図 2.11 を参考にして設定してください。

- ※: 図 2.11 は表示されない場合があります。表示されない場合は、次の設定画面 (図 2.12) が表示されるので、そのまま図 2.12 の設定を行ってください。

設定を確認したら、「次へ」ボタンをクリックします (図 2.11)。

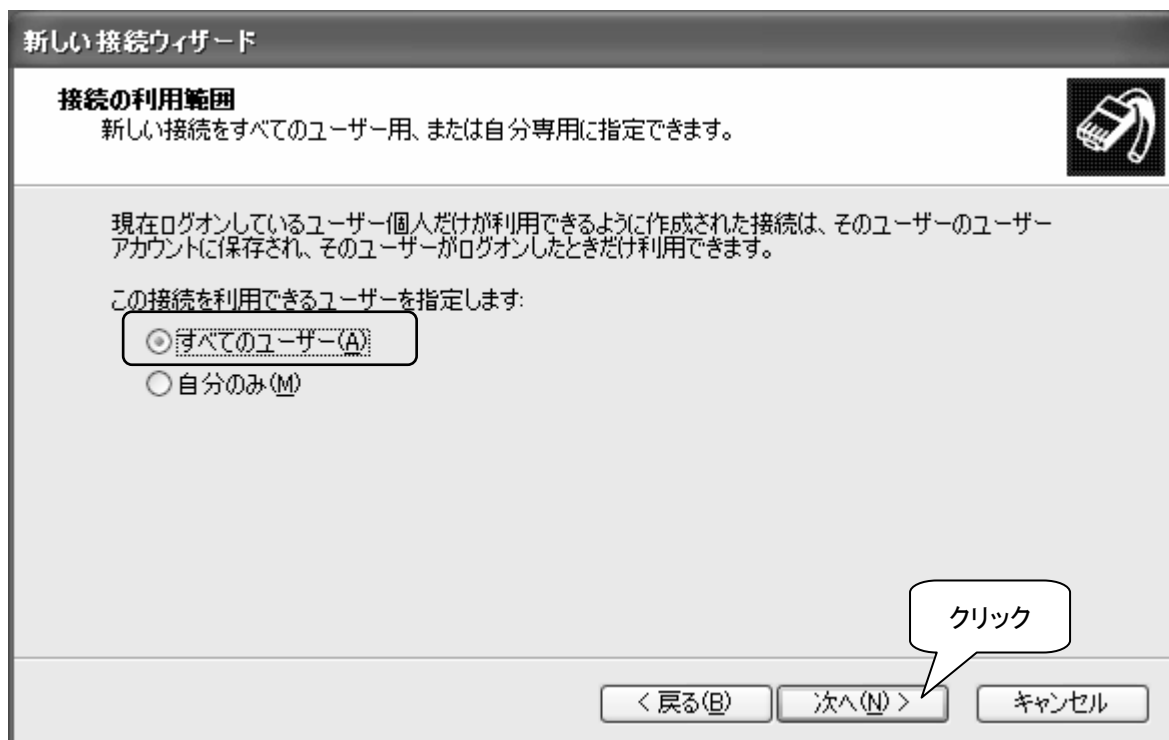


図 2.11

次に、インターネットアカウント情報を設定します。

「mopera U」を利用する場合には、「ユーザ名」、「パスワード」の入力は必要ありません。

したがって、図 2.12 内の「ユーザ名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄はそれぞれ空欄のまま、「次へ」ボタンをクリックします(図 2.12)。

新しい接続ウィザード

インターネット アカウント情報
インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。

ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)

ユーザ名(U):

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

☒ このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)

☒ この接続を既定のインターネット接続とする(M)

クリック

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

図 2.12

※: mopera U 以外の ISP にダイヤルアップ接続を行う場合など、アクセス先がユーザ名およびパスワードを必要とする場合は、その ISP が定めるセットアップ方法にしたがって「ユーザ名」、「パスワード」の情報を入力してください。

以上でダイヤルアップ接続プロファイルの作成は完了です。「完了」ボタンをクリックします(図 2.13)。

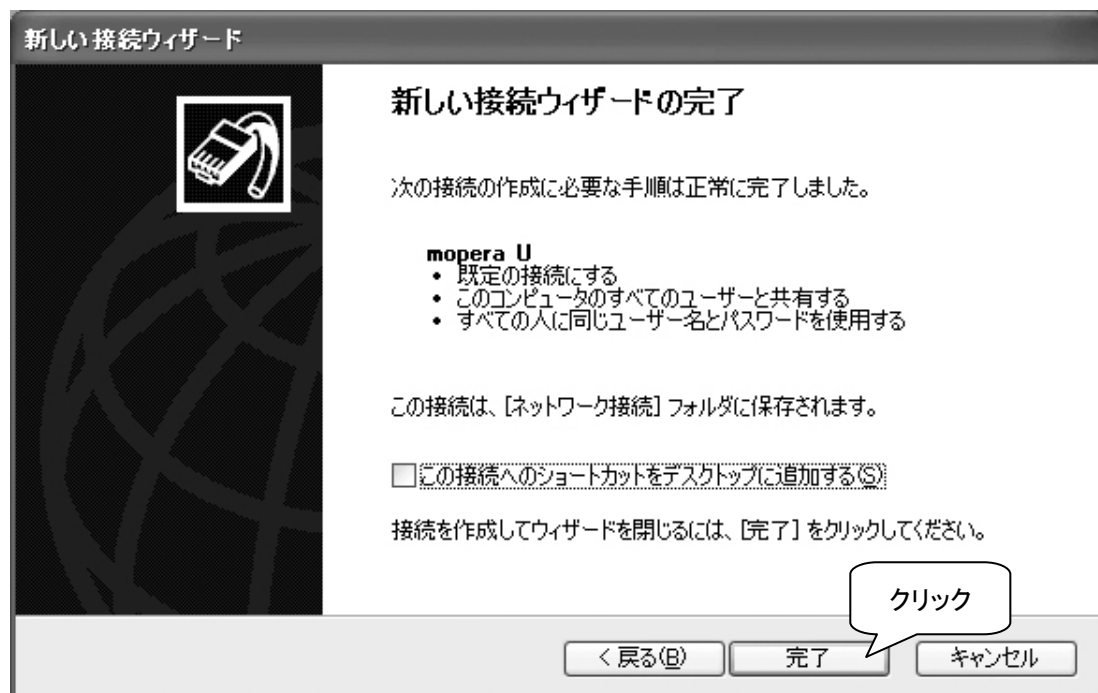


図 2.13

3. モデム設定・接続プロファイルの設定・確認

インストールしたモデムの設定および、作成したダイヤルアップ接続プロファイル「mopera U」の設定を確認します。

モデムの設定では、通信速度などを設定・確認します。

接続プロファイルの設定では、ハードウェア機能、通信速度の設定やネットワーク設定などを設定・確認します。

① モデム(FOMA UM02-F)の設定・確認

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。

「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします(図 3-1.1)。



図 3-1.1

「プリンタとその他のハードウェア」が表示されるので、「電話とモデムのオプション」をクリックします(図 3-1.2)。

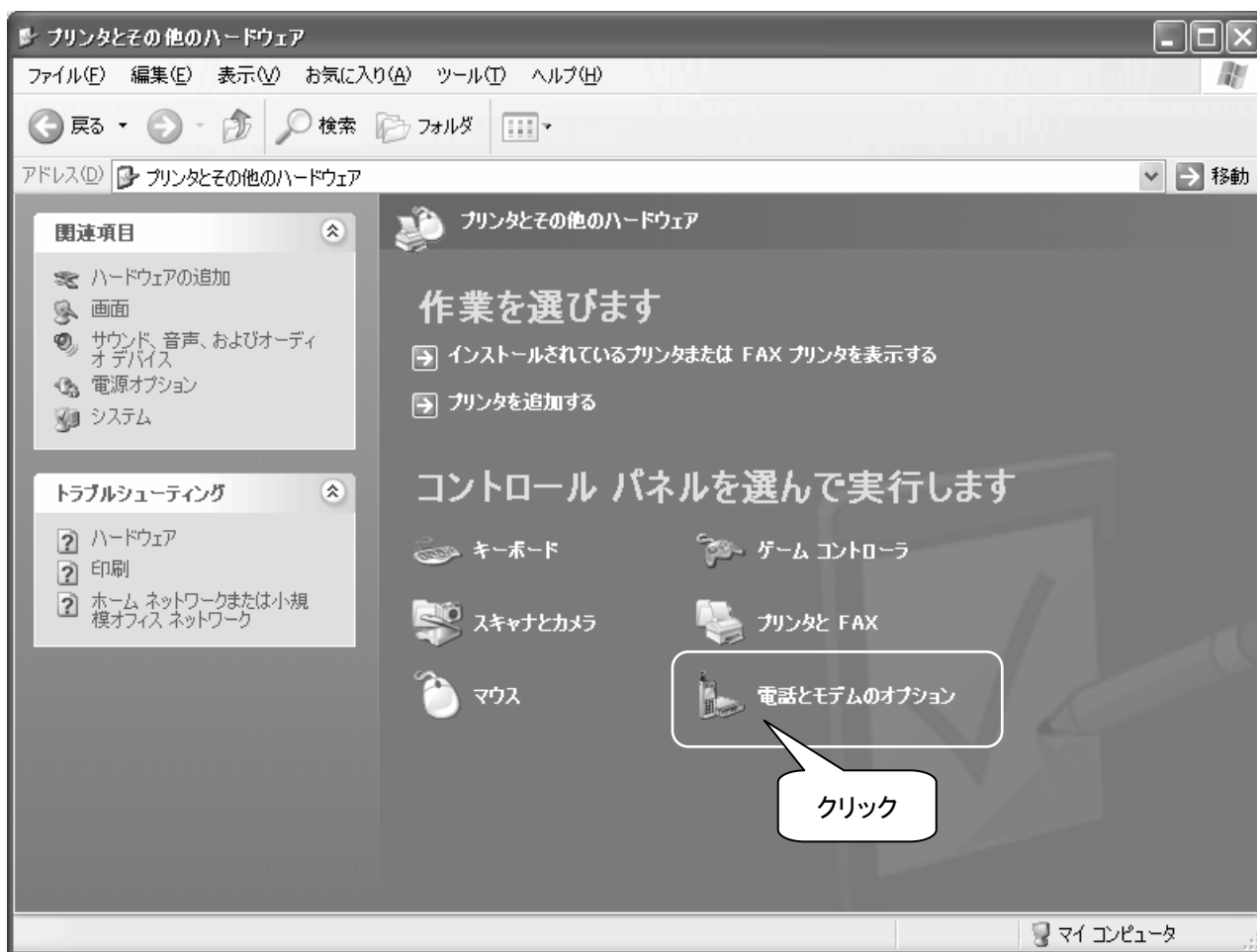


図 3-1.2

「電話とモデムのオプション」が表示されるので、「モデム」タブをクリックします。モデム「FOMA UM02-F」を選択し、「プロパティ」をクリックします(図 3-1.3)。



図 3-1.3

「FOMA UM02-F のプロパティ」が表示されます(図 3-1.4)。



図 3-1.4

「FOMA UM02-F のプロパティ」において、以下の項目を設定・確認します。

- a) ポートの最高速度
- b) フロー制御

a) ポートの最高速度

「モデム」タブをクリックし、「ポートの最高速度」を設定します。設定する値は、「FOMA UM01-KO 接続用治具」に設定した値と同じ値にしてください(図 3-1.5)。

※: 「FOMA UM01-KO 接続用治具」における通信速度設定については、「FOMA UM01-KO 接続用治具取扱説明書」を参照してください。



図 3-1.5

b)フロー制御

「詳細設定」タブをクリックし、「フロー制御」を設定・確認します。

「詳細設定」タブにある「既定の設定を変更」ボタンをクリックします(図 3-1.6)。



図 3-1.6

「FOMA UM02-F 既定の設定」が表示されます。

「フロー制御」を設定します。設定する値は、「FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)」に設定した値と同じ値にしてください(図 3-1.7)。

※: 「FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)」におけるフロー制御の設定については、「FOMA UM02-F 取扱説明書」を参照してください。



図 3-1.7

続けて、「詳細設定」タブをクリックします。

「ハードウェアの設定」(「データビット」、「パリティ」、「ストップビット」)の値がそれぞれ、図 3-1.8 に示した値になっているか、確認してください。

データビット:8

パリティ:なし

ストップビット:1

正しく設定されていることを確認したら、「OK」ボタンをクリックします(図 3-1.8)。

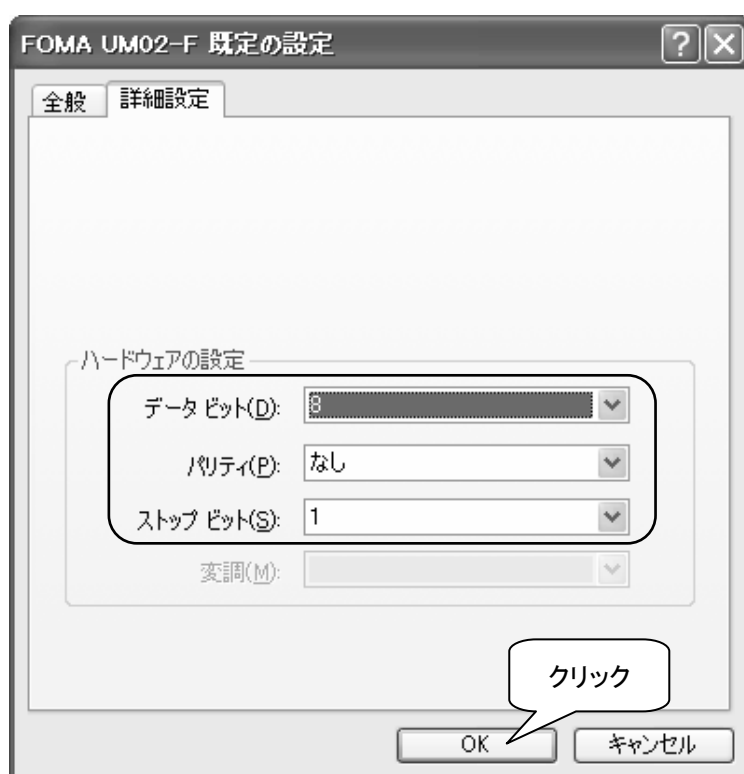


図 3-1.8

以上で「① モデム (FOMA UM02-F) の設定・確認」は終了です。
「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます (図 3-1.9)。

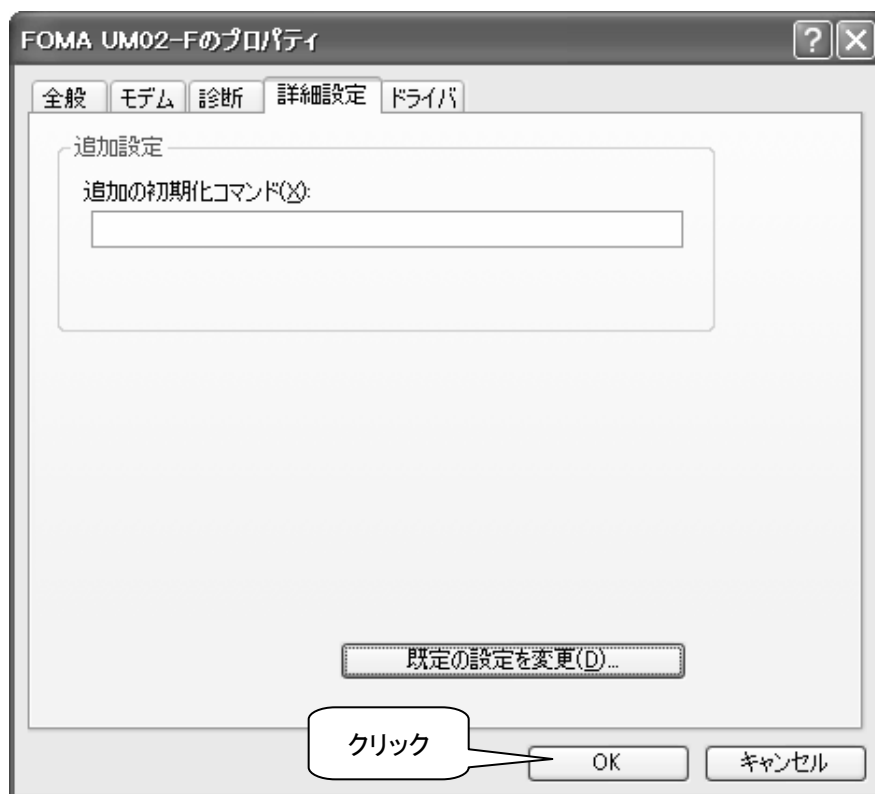


図 3-1.9

続けて、表示されている「電話とモデムのオプション」ウィンドウを、「OK」ボタンをクリックして閉じます(図 3-1.10)。



図 3-1.10

② 接続プロファイル・ハードウェア機能、通信速度の設定・確認

「2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイアルアップ接続のプロファイル「mopera U」の設定・確認を行います。

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。

「ネットワークとインターネット接続」をクリックします(図 3-2.1)。

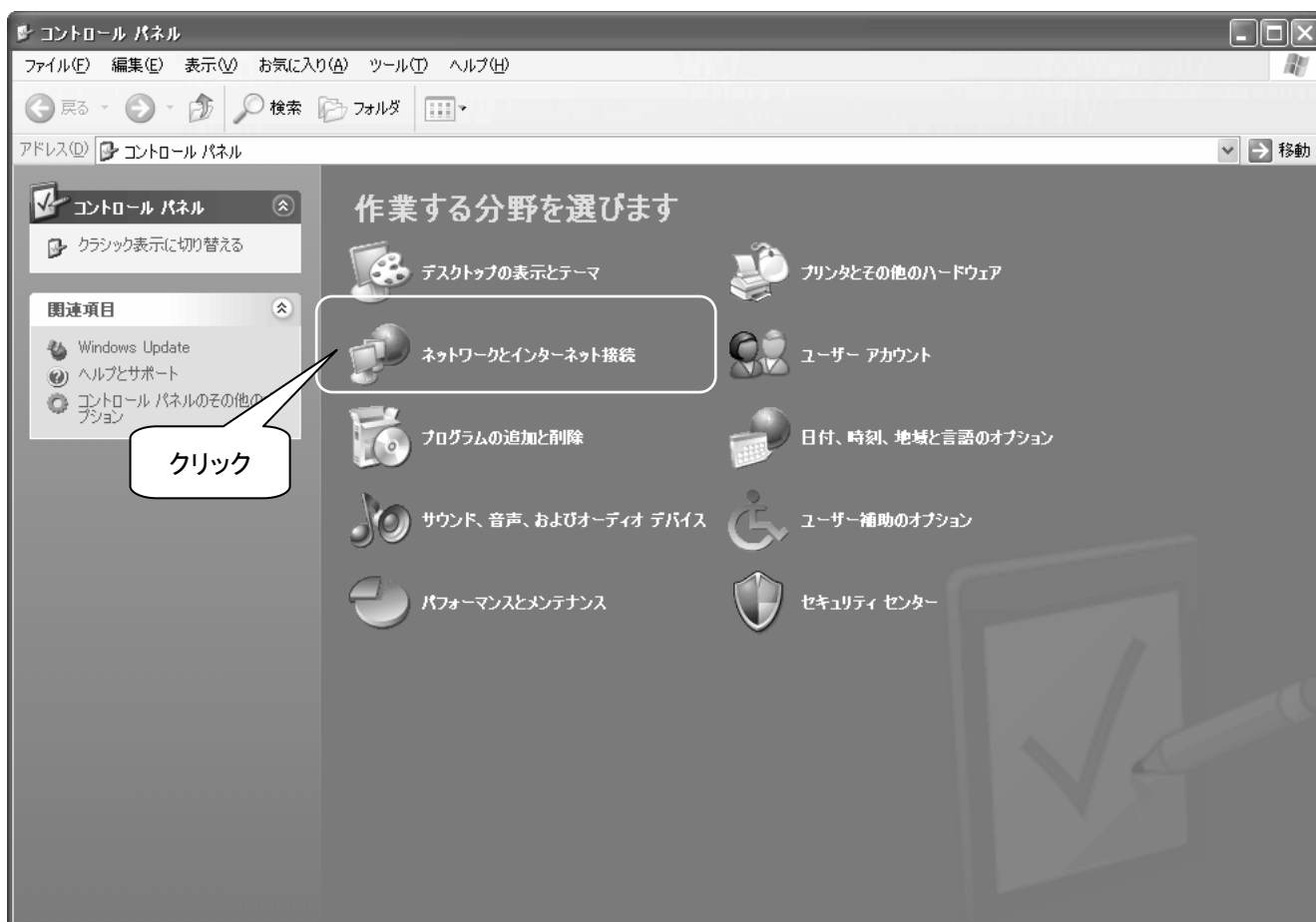


図 3-2.1

「ネットワークとインターネット接続」が表示されるので、「ネットワーク接続」をクリックします(図 3-2.2)。

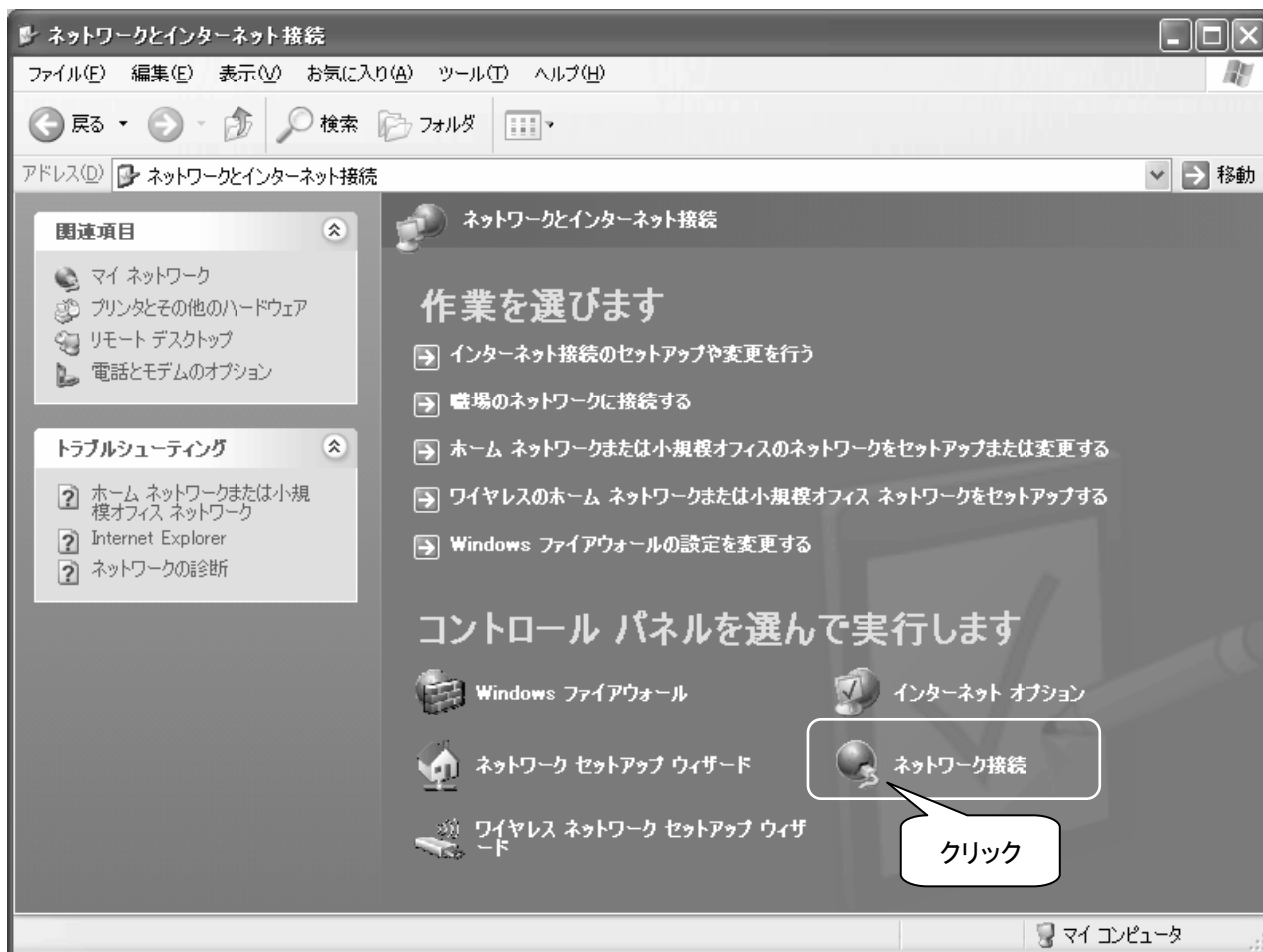


図 3-2.2

「2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイアルアップ接続「mopera U」の、設定・確認を行います。ダイアルアップ接続「mopera U」のアイコン上で右クリックしてコンテキストメニューを表示させ、プロパティをクリックします(図 3-2.3)。

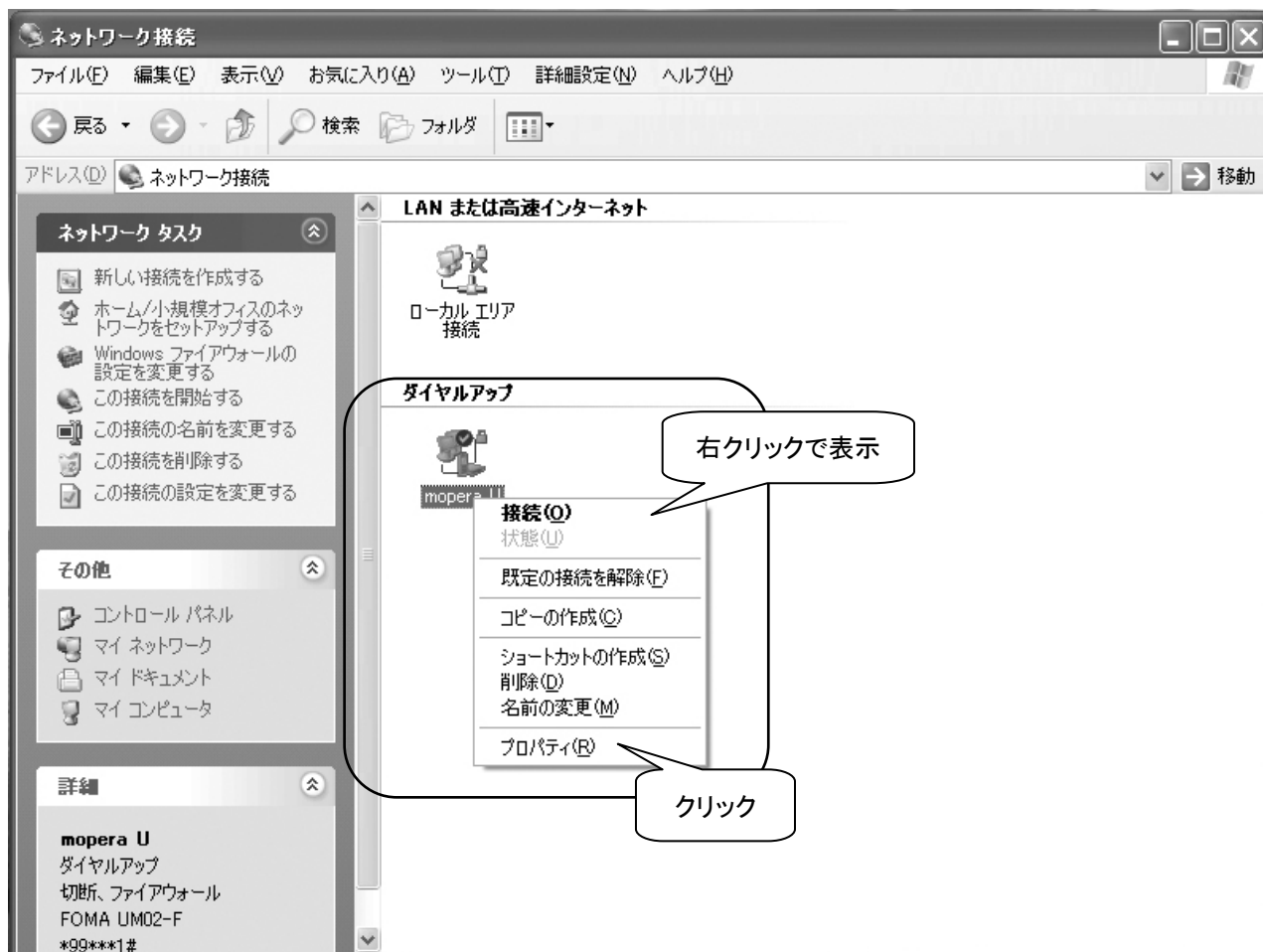


図 3-2.3

「mopera U のプロパティ」が表示されます。ダイヤルアップ接続にて使用するモデム（FOMA UM02-F）の設定を確認するために、「モデム-FOMA UM02-F（COM2）」を選択した状態で「構成」ボタンをクリックします（図 3-2.4）。



図 3-2.4

表示された「モデムの構成」において、「最高速度(bps)」を設定します。

設定する値は、「FOMA UM01-KO 接続用治具」に設定した値と同じ値にしてください。

(図 3-1.5 「FOMA UM02-F のプロパティ」にて設定した値と同じ値を設定してください。)

※: 「FOMA UM01-KO 接続用治具」における通信速度設定については、「FOMA UM01-KO 接続用治具取扱説明書」を参照してください。

また、モデムのハードウェアフロー制御を使用する場合は、「ハードウェアの機能」欄の「ハードウェアフロー制御を行う」にチェックを入れます。この場合、「FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)」の設定もハードウェアフロー制御に設定してください。

(図 3-1.7 「FOMA UM02-F 既定の設定」にて設定した値と同じ値を設定してください。)

※: 「FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)」におけるフロー制御の設定については、「FOMA UM02-F 取扱説明書」を参照してください。

設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして「モデムの構成」を閉じます(図 3-2.5)。

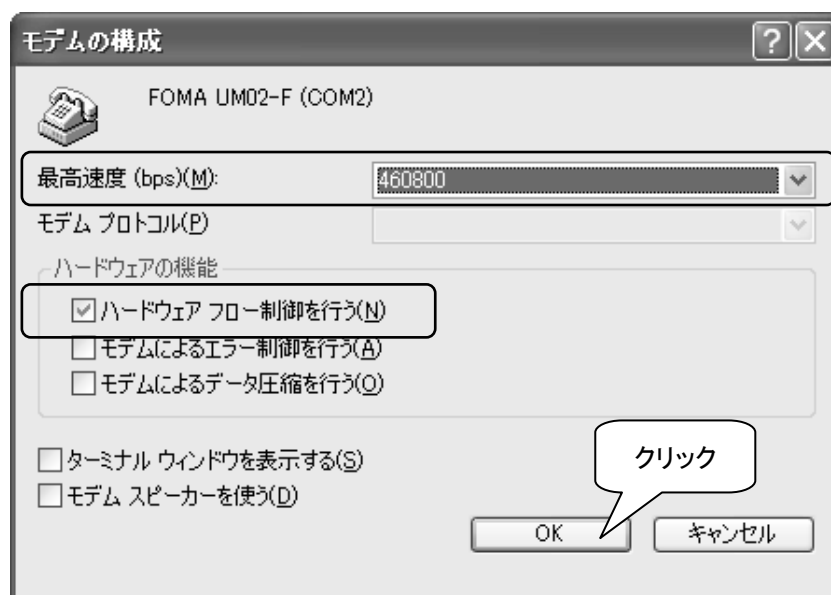


図 3-2.5

③ 接続プロファイル・ネットワークの設定 (PPP 設定、TCP/IP 設定)

図 3-2.4 で表示された「mopera U のプロパティ」において、「ネットワーク」タブをクリックしてネットワークの設定を行います。

「mopera U のプロパティ」の「ネットワーク」タブにおいては、以下の項目を設定・確認します。

- a) 呼び出すダイヤルアップサーバーの種類 (PPP) 設定
- b) インターネットプロトコル (TCP/IP) 設定

a) 呼び出すダイヤルアップサーバーの種類 (PPP) 設定

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」に「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択し、「設定」ボタンをクリックします (図 3-3.1)。



図 3-3.1

表示された「PPP 設定」において、「LCP 拡張を使う」と「ソフトウェアによる圧縮を行う」のチェックを外します。全てのチェックボックスが外れていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします (図 3-3.2)。

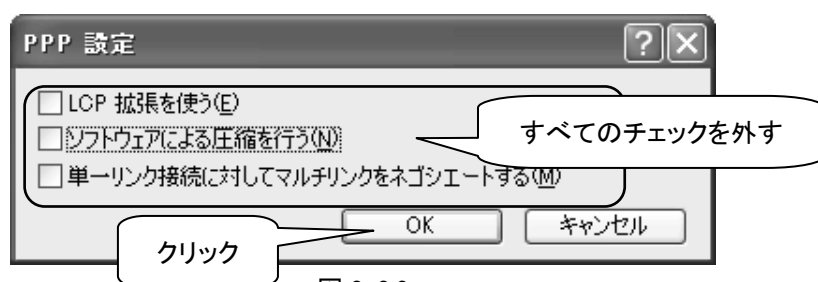


図 3-3.2

b) インターネットプロトコル(TCP/IP) 設定

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします(図 3-3.3)。

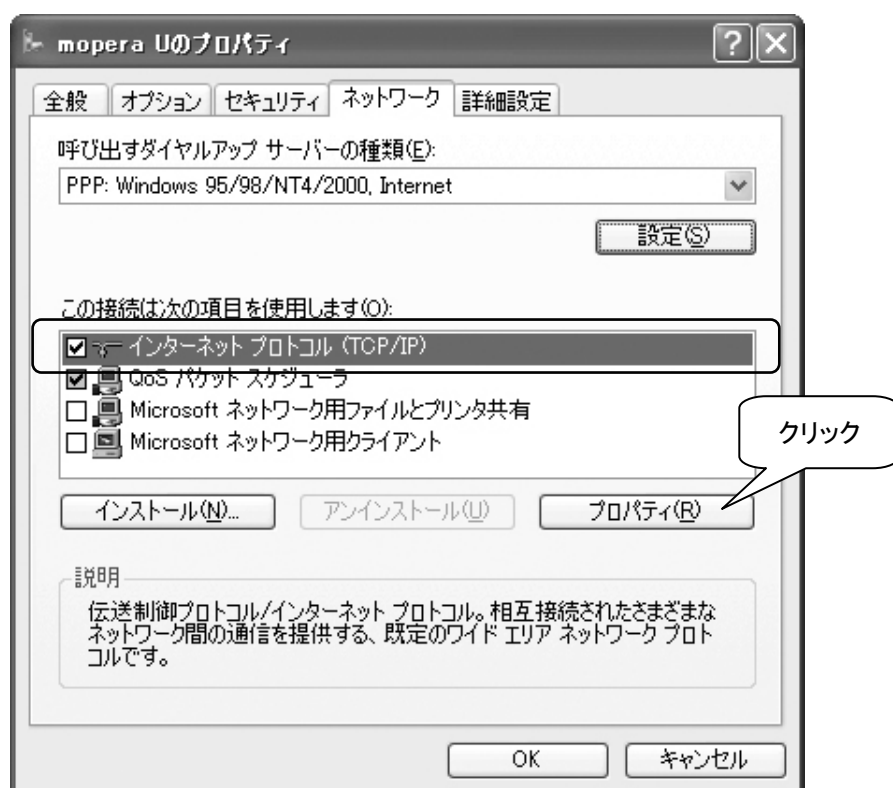


図 3-3.3

表示された「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」において、「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」のラジオボタンがチェックされていることを確認します。

それぞれのラジオボタンがチェックされていない場合は、図 3-3.4 を参考にして、それぞれを設定します。

※: 「mopera U」以外の ISP を利用してダイヤルアップ接続を行う場合は、利用する ISP が定めるセットアップ方法にしたがって、「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を設定してください。

※: 装置ネットワークなどの限定されたネットワークに接続する場合は、該当するネットワークの設定方法にしたがって「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を設定してください。

設定を確認したら、「OK」ボタンをクリックします(図 3-3.4)。

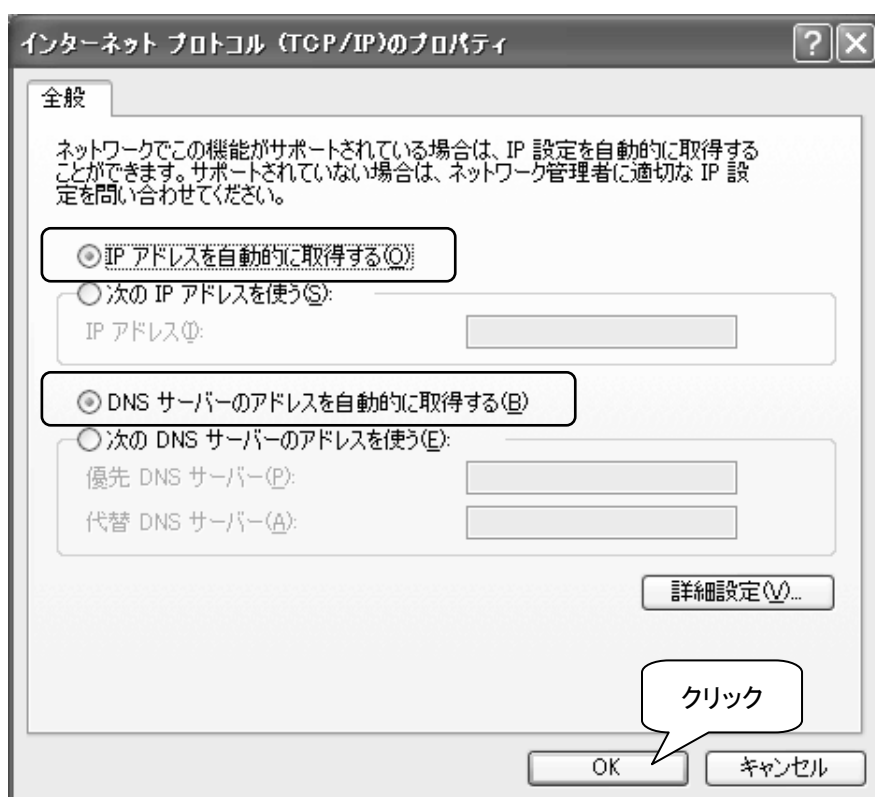


図 3-3.4

以上で「③ モデム設定・接続プロファイルの設定・確認」が完了しました。
「OK」ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます(図 3-4)。

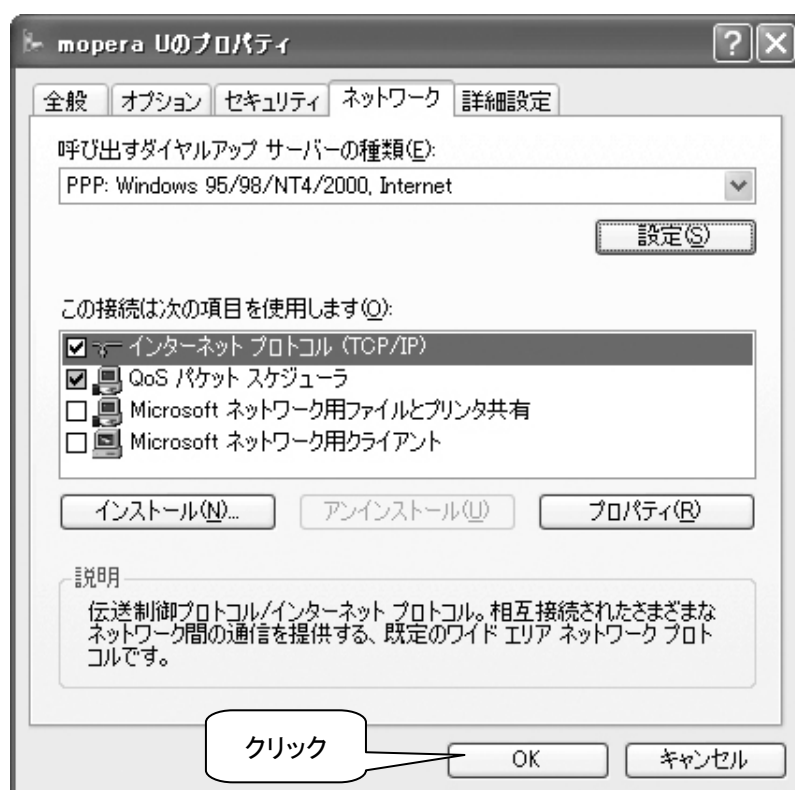


図 3-4

本書およびモデムセットアップ情報ファイル(UM02-F.INF)の著作権は富士通株式会社に帰属します。富士通株式会社の許可なく、本書の一部または全部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。

FOMA ユビキタスモジュール(FOMA UM02-F)及び
専用アダプタセット用「モデムセットアップ情報ファイル」(UM02-F.INF)設定手順書

’08. 7(1.0 版)

CA92002-5352